

令和8年度

第58回

十日町市美術展作品募集要項

〈会 期〉令和8年 11 月 13 日（金）～16 日（月） 〈主 催〉 十日町市

午前9時 00 分～午後6時 00 分

〈主 管〉 十日町市教育委員会

（最終日は午後3時まで）

十日町市美術展運営委員会

〈会 場〉 越後妻有文化ホール・十日町市中央公民館

〈協 力〉 十日町市美術協会 十日町市書道協会

「段十ろう」（十日町市本町 1 丁目上 508 番地2）

〈後 援〉 新潟日報美術振興財団 新潟日報社

十日町新聞社 妻有新聞社

東頸新聞社 エフエムとおかまち

JCV 十日町センター

◆出 品 料 同一部門 1 点につき一般は 1,500 円（2 点目 1,000 円）、
高校生以下は 500 円（2 点目 300 円）。

おつりのないようにご用意ください。 ※同一部門につき、1 人 2 点以内とします。

◆作品搬入出 **搬入** 11 月 10 日（火）正午～午後 7 時（時間厳守）市美術展会場まで持参してください。
裏面の出品申し込み票と出品票を記入（書道は釈文も）し、当日提出してください。

搬出 11 月 16 日（月）午後 3 時～6 時 30 分
市美術展会場まで「作品預り証」を持参の上、引き取りに来てください。

◆作品指導会 11 月 11 日（水）午後 5 時 30 分～7 時 市美術展会場

◆審 査 員

永吉 秀司 (新潟市在住)	（絵画部門審査員） 1972 年愛知県名古屋生まれ。1995 年東京藝術大学美術学部日本画学科卒。1997 年東京藝術大学大学院絵画研究科日本画専攻 修了。1998 年松柏美術館第 4 回 花鳥画展 優秀賞（2002 年第 8 回大賞）。1999 年日本美術院再興第 84 回院展 初入選（以後 23 回入選）、日本美術院第 54 回 春の院展 初入選 以後毎年 2008 年川尻筆「筆と芸術の祭典」水墨画公募展 銀賞（平成 21 年 銅賞）。2019 年「永吉秀司日本画展 路傍のカケラー小さき者たちの囁き」弥彦の丘、2024 年「永吉秀司日本画展 人ノ心ヲ伝フコト」。2021 年第 49 回藝展 連盟大賞 受賞（一般の部）、第 76 回春の院展 春季展賞・足立美術館賞受賞。2022 年第 77 回春の院展 奨励賞 受賞。2022 年 第 50 回藝展 50 回記念賞受賞（会員の部）。2023 年「院展作家永吉秀司新令和弘長寺来迎図展の世界」展。2024 年「院展作家永吉秀司 新令和版弘長寺二十五菩薩来迎図展」、新潟市歴史博物館みなとびあ。現在：公益財団法人日本美術院特待、地域連携教育普及プログラム委員、新潟大学教育学部准教授、県展運営委員、新潟県美術家連盟常務理事。
本間 公司 (新潟市在住)	（造形部門審査員） 1958 年佐渡市生まれ。新潟大学教育学部卒業・イタリア国立ローマ美術学院留学・愛知県立芸術大学大学院美術研究家修了。新潟県美術展覧会（1984 年～ 無鑑査、1997 年～ 県展運営委員）、新潟県美術家連盟（1987 年会員、2023 年～事務局長）・新潟県彫刻会（1988 年会員、1995～2011 年 事務局長、2011～2023 年 会長を歴任）・新潟市美術協会（1993 年会員、以後理事・幹事・副会長を歴任）。現在、新潟市美術展運営委員
伊藤 省風 (胎内市在住)	（書道部門審査員） 1953 年村上市生まれ。大東文化大学卒業。松井如流、鈴木桐華に師事。1974 年、1976 年、1977 年東京書道会展特選。1980 年東京書道会展顧問賞受賞。1980-1982 年芸展奨励賞受賞。1983 年県展奨励賞受賞。1985 年毎日書道展毎日賞受賞、東方展特別賞受賞。1990 年毎日書道展会員賞受賞。1994 年芸展会員賞受賞。2004 年白桃美術館開設。 現在、新潟県美術家連盟理事長、新潟県書道協会副会長、県展委員
鈴木 一雄 (東京都在住)	（写真部門審査員） 1953 年福島県生まれ。法政大学法学部卒業。民間企業、地方公務員を経て自然写真家となる。自然界が発しているさまざまな聲を五感で受け止め、その物語を描くことに精力を傾ける。フォト寺子屋「一の会」主宰。当地を一躍有名にした初期の代表作「裏磐梯」。それまであまり知られていなかった冬の湿原の表情を鮮烈に捉えた「尾瀬」。精力的に追い求める全国の多彩な「桜」。さらには撮影範囲を日本列島全域に広げた近作の「列島シリーズ」まで、幅広く奥深い作品世界を紹介。2025 年発行されて話題をよんだ写真集「一にっぽん列島ーいのちの聲」は、全国図書館協議会選定図書に選ばれる。富士フィルムフォトフット・群馬県展・新潟県展・福島県展・全日本写真連盟支部対抗戦・新潟県写真フォーラムなど数多くの審査員を歴任。 現在、(公社)日本写真協会・日本写真家協会会員、全日本写真連盟関東本部委員、日本写真家連盟常任講師

◆出品規格

同一部門1人2点以内、他の公募展未出品作品に限ります。(違反した場合は入賞を取り消します。)

部 門		材質・額装等	大きさ
第1部 絵 画	日本画	額縁付きに限る。	8号程度～100号まで
	洋画	油絵、水彩、パステル等。額縁付きに限る。	8号程度～100号まで
	版画	モノタイプ版、ドライマウント加工は不可。額縁付きに限る。	長辺 116 cm以内
第2部 造 形	彫刻		常識の大きさを超えないこと
	現代美術	技法、材質、立体、平面、表現など問わない。	常識の大きさを超えないこと
	工芸	染、織、焼物、つる、漆、革、竹、わら、紙工芸等	縦、横、高さとも 180 cm以内
第3部 書 道	書 道	額装、枠張りまたは軸物表装のこと。釈文票は、楷書ではっきり記入することとし、ペン書き、ワープロ等も可。	縦額は幅 64 cm以内、縦 245 cm以内 幅 76 cm以内、縦 182 cm以内 横額は幅 152 cm以内、縦 76 cm以内 (仕上がり寸法)
第4部 写 真	写 真	額装又は、パネル表装とする。表面は、ガラス、アクリル板は使用禁止。額、パネルの裏面に展示用の紐を付けること。	単写真は額・パネルの短辺 40 cm以上長辺 70 cm以内の写真サイズは自由 組み写真はパネルの短辺 50 cm以上長辺 110 cm以内で、写真枚数、写真サイズは自由

額装の場合ガラスは不可 (油絵のみアクリル板も不可)。額縁にはひもをつけること。

◆審査・展示 ①展示された作品は、会期中出品者の都合で撤去することはできません。

②審査及び展示に関して出品者が異議を申し立てることはできません。

◆授 賞 市展賞(賞状・副賞 30,000 円)、奨励賞(賞状・副賞 10,000 円)、新潟日報美術振興賞(賞状)、佳作賞(賞状・副賞 3,000 円)

◆表 彰 式 11 月 15 日(日) 午前9時 00 分～ 市美術展会場
(受賞者には 11 日(水) 午後6時～8時に電話連絡いたします。)

◆発 表 入賞作品は市報、市ホームページで発表します。

◆特 別 作 家 ①委 嘱：県展奨励賞以上の受賞者、中央展入選者又は元市展運営委員等
②無鑑査：市展同一部門で奨励賞(奨励賞に相当する賞を含む。)以上の賞を3回以上(うち市展賞を2回以上)受賞した者※ここでの同一部門とは、絵画(日本画・洋画・版画)、造形(彫刻・現代美術・工芸)、書道、写真の8部門とする。

◆注 意 事 項 著作権・肖像権の問題や、盗作・類似作品などの問題が生じないように留意してください。
当該事案に関する訴訟等には主催者は一切関知しません。
出品数によって、すべての作品を展示することが出来ない場合があります。

◆保 管 責 任 作品の保全については最大限の努力をいたしますが、自然災害、その他不慮の事故による損害、搬出期限を過ぎたものについてはその責任を負いません。

◆個 人 情 報 個人情報、この美術展以外には使用しません。
市報、市ホームページで受賞者の氏名・行政区を公表することをご了承願います。

事務局 十日町市教育委員会教育文化部生涯学習課

〒948-0083 十日町市本町1丁目上508番地2 段十ろう内

電話 (025)757-5011 FAX (025)757-5010

第 58 回十日町市美術展出品申し込み票

部門（○印） 1 絵画（日本画・洋画・版画） 2 造形（彫刻・現代美術・工芸） 3 書道 4 写真

ふりがな	年齢	行政区(学校名)	〒 —
氏名			住所：
(雅号)	歳		電 話 — — ※受賞の連絡などに使用する場合がございますので、平日の夜ご連絡の 取れる番号にしてください。

◎十日町市在住の方のみ
鑑賞者に配布する展示目録に町名を記載することを ・同意します ・同意しません

※同意・不同意の記入がない場合は市町村名のみ記載します。（十日町市以外の方は市町村名のみ記載）
※中高生は学校名を記載します。

受付No.	題 名	大 き さ (出品規格に沿って記入)	備 考 (作品の素材。材質・技法)
	(ふりがな)		
	(ふりがな)		

第 58 回十日町市美術展出品票

第 部	部門
受 付 No.	
ふりがな	
題 名	
氏 名	
住 所	
搬 出 人 (該当に○)	本人 ・ 代理人 ・ 業者

※額裏右上に添付すること

第 58 回十日町市美術展出品票

第 部	部門
受 付 No.	
ふりがな	
題 名	
氏 名	
住 所	
搬 出 人 (該当に○)	本人 ・ 代理人 ・ 業者

※額裏右上に添付すること

捺印欄

(姓 ・ 名)